

別紙 様式 1

令和5年度学校経営計画

学校名 東広島市立松賀中学校

校長名 加藤 真悟

I 学校の状況

学級数	18	児童・生徒数		教職員数	
メールアドレス	matsuga-chu@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/matsuga_chu/				

II 教育目標

夢や目標に向かって挑戦し、未来をたくましく生きる生徒の育成

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかでたくましい体」の三つを経営の柱として位置付け、これからの社会をたくましく生き抜くために必要な資質・能力を身に付けた生徒を育成する。

IV 中期経営目標及び短期経営目標

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
確かな学力	1	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学習に取り組む生徒の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の主体的な学習を促す授業改善の推進 ○基礎的・基本的な学習内容の定着 ○思考力・判断力・表現力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「松賀中学校 授業スタイル」の徹底 ・ICTを効果的に活用する授業づくり ・各種テスト等の計画的な実施 ・学びの質を高めるための「表現すること」に視点を置いた授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開：全教員が年度一回以上 ・習熟度テストにおいて、総得点 30%以下の生徒の割合：20%以下 ・他者の意見を参考にして自分の考えを再構築している生徒の割合：75%以上 ・授業に満足している生徒の割合：90%以上
豊かな心	2	<ul style="list-style-type: none"> ○凛とした元気・感動・温もりのある心の育成 ○不登校、問題行動、いじめ問題の克服 ○集団規律、規範意識の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○自他を尊重する集団の育成 ○不登校、問題行動等の発生件数の減少 ○規律の徹底と規範意識の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・納得と評価による生徒指導の機能的な実施 ・問題行動等への早期対応、組織的な対応 ・松賀中スタンダードの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自己肯定感の割合：80%以上 ・全校生徒に占める不登校生徒の割合：5%以下 ・松賀中スタンダードを意識し実行しようとしている生徒の割合：95%以上

健やかでたくましい体	3	○基本的な生活習慣の定着	○清掃活動の充実	・黙働流汗の徹底	・黙働流汗に取り組む生徒の割合：90%以上
		○体力・運動能力の向上	○体力・技能の向上	・新体力テストの結果に基づく運動内容の充実 ・部活動への自主的参加	・1日の運動時間30分未満の生徒の割合：10%未満 ・部活動に自主的に参加し、意欲的に取り組む生徒の割合：85%以上

※各学校の現状を踏まえた目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

※「目標達成のための方策」については、短期経営目標を達成するための具体的な方策を明記し、学校評価との関連性をより明確にするように留意する。

V 学校評価

1 学校評価システムの組織（構成者を含む）

自己評価 … 校長，教頭，主幹教諭，教務主任，研究主任，各学年主任，生徒指導主事

学校関係者評価 … 6名の委員で構成

竹井春江（元長浜中学校校長），岸田洋美（元東広島21ロータリークラブ会員）

黒川以壽美（東西条小学校校長），榎並愛子（御園宇小学校校長）

佐々木成樹（御園宇小学校区住民自治協議会会長），金安秀典（PTA会長）

2 自己評価及び学校関係者評価の実施計画（公表方法を含む）

自己評価 … 前・後期ごとに実施（HP，学校だより等により公表）

学校関係者評価 … 年3回実施（HP，学校だより等により公表）

第1回 学校が作成した経営目標について評価を受ける。

第2回 各分掌等で成果・課題を整理し，自己評価を行った内容について評価を受ける。

第3回 学校が成果や課題を整理し評価を受けることにより，次年度へ向けての具体的な改善策を立てる。

※作成に当たっては、「学校評価ガイドライン〔平成28年改訂〕」（文部科学省 平成28年3月22日）を参照する。